

---

# **僕と悪魔の妹と召喚獣**

ビックボスと言ってくれ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕と悪魔の妹と召喚獣

### 【Zコード】

N7771V

### 【作者名】

ビックボスと戻してくれ

### 【あらすじ】

幻想郷から抜け出し、バカテスの世界に迷い込んだ悪魔の妹フラン。

明久とフランの出会いは、どう物語を変えていくのか。

## プロローグ1

タツタツタツタツタ。

? 「来ないで！」

森の中を二人の少女が駆ける。

一人は金髪で、木の枝のような羽が生えている。

もうひとりは、

? 「フラン！、戻りなさい！」

青髪で、蝙蝠のような羽をした少女であった。

フ「いやだ、もうあんなところにいたくない。」

見たところ、フランという少女は、家出をしたらしい。

? 「フラン！、これは、姉としているのよ。」

この二人は、姉妹らしい。

すこしして、視界が開けた。森を抜けたのである。  
そして、この世界の結界までたどり着いた。

フ「ここさえ壊せば後は・・・。」

? 「よしなさい、フラン！』

フ「・・・きゅっとしてドカーン！」

バリンと音を立てて結界の一部が壊れた。

そして、そこから淡い光があふれだし、フランを包み込んだ。

? 「フランアアアアン！？！？」

そしてその日、一人の少女が、幻想郷から消えた。

## プロローグ1（後書き）

フランちゃんかわいいよフラン。  
QED「495年の波紋」  
ちよ、まつ  
ピチューん

## プロローグ2（前書き）

明久登場。

## プロローグ2

フ「う、うん」

?「あつ、目が覚めた。」

フ「!、誰!？」

?「ああ、そういうえば、僕の名前言つていなかつたね。僕の名前は、吉井明久だよ。きみは?」

フ「私、フラン。フランドール・スカーレットっていうの。」

明「そつか、フランちゃんって言うのか。ようしきね。」

フ「うん。・・・じゃなくて、ここにどこの?」

明「僕の家だよ。」

フ「そうじゃなくて、幻想郷の何処なの?」

明「幻想郷? なにそれ?」

フ「え、つてことは・・・やつたー! やつと外の世界に来れたー!」

明「え、なに? なんなの?」

少女、少年に説明中・・・

(作者の力不足です)

明「じゃあ簡単に言うと、君は幻想郷という世界から来て、しかもきみは吸血鬼だってこと?」

フ「そうだよ。」

明「・・・。」(キャラパシティが超えました。)

フ「どうしたの明久! ? なんか頭から煙が出でてるよ! ?」

明「ウン、ダイジョウブダヨフランちゃん。」

フ「片言になつてるよ! ? 大丈夫! ?」

少年、オーバーヒート中・・・

明「・・・。ハツ、僕は一体何を! ?」

フ「大丈夫! 大丈夫だから! 何もしていないから!」

明「ほんとに?」

フ「うん、ホントだよ。」

明「じゃあ今夜も遅いし寝るとして、続おせ町口聞へり」と云つやう。

フ「分かった。」

## プロローグ2（後書き）

続きは、

作「続かない」

フ、明「「続けろやあああーーー。」

作「やめてえええ。」

ピューン

これで最後のプロローグ（前書き）

明久が・・・。

## これで最後のプロローグ

草木も眠る丑三つ時、

明「グウ・・・・。」

フ「・・・。お腹すいた。」

フランは、起きていた

フ「どうしてだろう？ ちょっと前に食べたばっかなに。」

フランは知らない、それは自分が吸血鬼だから起こる衝動だと。

フ「それにのども渴く・・・。」

横を見ると無防備で、首があらわになっている明久がいる。

フ「ゴクリ、（どうしてだろう明久の血を吸いたくなる）

そしてフランは明久に近づき、

フ「ちょっとだけなら・・・。」

カプリ、とかみついた。

明「いたああいいい！？」

フ「チューーチュー、あ、ごめん。」

明「え、なんだフランか、脅かさないでよ。姉にアイアンクロを  
かまされていいる夢を見ていたんだから。」

チューーチュー

明「・・・所でフランちゃん、いつたい何を。」

フ「明久の血、美味しい。」

明「じゃなくてなんで血を吸っているの？ 吸血鬼にかまれたら、僕  
も吸血鬼に・・・ハ、！」

フ「あ、・・・。」

明「・・・。終わった、僕の、人生、が。」

少年、落ち込み中・・・

フ「グス、『めんね明久、私が血を吸つたばかりに……』

明久の背中には、フランと同じ羽が生えてきて、目も紅く染まつて  
いた。

明「……。ハジハジしてもなにもおひらないんだ。だつたらあが  
いてみせるよ。」

フ「え、？」

明「フランちゃん、もういこよ、きめたんだ僕。」

フ「グス、……。なにを？」

明「人間をやめる」と。そして、吸血鬼として生きるよ。」

フ「でもでも、もつにつもの生活には戻れないんだよ。それでもい  
いの！？」

明「確かにそうかも知れない。でも」

フ「でも？」

明「フランちゃんが生きているんだからそれでもいいよ。」

フ「！、……。あきひたああああ！（涙）」

明「いっぱい泣いていいよ。」

フ「う、う、うわあああん！」

こうして、夜が明けて行つた。

続く、

これで最後のプロローグ（後書き）

明「作者……」（笑顔だが、目が笑っていない）

作「な、なんだだだだいいいい！」

明チヨットオ HANA SISUMATA。

作「いやあああああああああああああああああああああああああああ

## キャラ紹介

—吉井明久—

年齢・16歳

体重・30キロ未満（吸血鬼になつたため）

身長・ググれカス

能力・「ありとあらゆる物を創り出す程度の能力」（命だけは創り出せない。）

見た目・明久の背中にフランの羽が生えた感じで目が紅く、八重歯が長くなつた感じ

学校以外、蒼いキングコートに、フランと同じ帽子をかぶつている。

フランに咬まれたせいで、吸血鬼化。その後、フランから勉強を教えてもらい頭が良くなつた。

その知識を利用し、吸血鬼にも人間にもなれる薬を創り出し、元に戻れるようになった。

そのさいに、能力に目覚めた。

—吉井蘭—

フランの今の名前。

名前を付ける際、フランのフをぬかしたら、蘭になるといつことで決めた。

明久のことば、兄さんと呼ぶ。

見た目は、フランに文月学園の女子制服を着せた感じ。薬で、人間にもなれるよつになつた。

—明久の召喚獣—

見た目・蒼のキングコートをはおり、羽が生えている。

武器・背中に鞘つきの剣を一つ、腰にハンドガンを二丁がまえている。

腕輪・スナイプアクション、40点消費、二丁のハンドガンで、連続乱れ撃ち。

ソードファントム、100点消費、もつ一体召喚獣が出てくる。

剣を装備しており、持ち点は、100点

約束された勝利の剣<sup>エクスカリバー</sup>、持ち点を1点だけ残し消費、消費した点数分、相手にダメージを与える

### —蘭の召喚獣—

見た目、いつものフランドルの姿

武器、時計の針のような剣

腕輪、今までのスペカ全部（QED「495年の波紋」は200点消費。それ以外は、100点消費）

## キャラ紹介（後書き）

明久のスペカを応募しております。  
コメントで書いてください。  
ヨロシクお願いします。

1話「それがはじまつ（前書き）」

雄一、アウト。

## 1話／それがはじまつへ

### 問題（科学）

『調理の為に火にかける鍋を制作する際、重量が軽いのでマグネシウムを材料に選んだのだが、調理を始めると問題が発生した。このときの問題とマグネシウムの代わりに用いるべき合金の例を一つあげなさい』

### 姫路瑞希の答え

『問題点……マグネシウムは、炎にかけると、激しく酸素と反応するため危険であるといつ点  
合金の例……ジュラルミニン』

### 教師のコメント

正解です。合金なので鉄ではダメと言つひつかけ問題なのですが、姫路さんは引っかかりませんでしたね。

### 吉井明久の答え

『問題点……レヴァーテインの炎を使用しなかつた点  
合金の例……ジュラルミニン』

### 教師のコメント

わざわざ伝説の炎の剣を使わなくても。

### 吉井蘭の答え

『問題点……レヴァーテインの炎を使用しなかつた点  
合金の例……ジュラルミニン』

### 教師のコメント

兄妹そろって同じ答えとは。

### 土屋康太の答え

『問題点……ガス代を払ってなかつたこと』

### 教師のコメント

そこは問題じゃありません。

### 第一章

「フラン遅刻しちゃうよ。」

「兄さん、蘭だつて。それに兄さんが起きるのが遅かつたからでしょう!」

「それは昨日の夜、蘭が壊したものを直していったからだよ。」

「うつ・・・・。」

兄妹、急いで移動中・・・

「「まにあつた~。」」

「ギリギリ遅刻だ、吉井兄妹」

「鉄・・・西村先生、おはようございます。」

「スネーク先生、おはようございます。」

「吉井兄、今、鉄人と言おうとしただろ。それに吉井妹、おれは潜入任務とかしないからな。」

先生の名前は、西村修一。トライアスロンが趣味なので、周りから鉄人と言われている。

「・・・お前ら、それ以外に言つことはないのか?」

「遅れてスイマセン。」

「つむ、それでいい。そしてこれがお前ら一人のクラス分けの結果だ。」

「「ありがとうございます。」」

パラツ・・・

『吉井明久・・・Fクラス』『吉井蘭・・・Fクラス』と書かれていた。

「お前ら一人、がんばればAクラス主席と次席になれたのにな。」

「いいんです。自分で決めたんですから。」

「自分たちで決めたんだつたといい。ところで吉井妹、少し兄を借りるぞ。」

「はい。」

「吉井兄、しうじきすまなかつた。」

「なんで西村先生が謝るんですか。」

「いやあの時、おれがそばにいたのになにもできなかつたからだ。」

「いいんです。気にしないでください。」

「しかしだな「自分で決めたことですか。」・・・そうか。」

「じゃあ、ぼくはこれで。」

タツタツタツタツ。

「・・・がんばれよ。」

続く

## 1話「それがはじまり」（後書き）

問題も受け付けます。

アロシク

2話「それが今の日常」（前書き）

オリ問題。

## 2話／それが今の日常へ

問題（国語）

『悪い噂でも、日がすぎれば忘れていくところの意味のことわざを答えなさい』

姫路瑞希の答え

『人の噂も7・5日』

教師のコメント

正解です。7・5日は、しちじゅうじにちと読みます。

吉井明久の答え

『ぼくの噂は、1年たつても消えない』

教師のコメント

いつたい何をしてかしたのですか？

吉井蘭の答え

『兄さん、それはわたしのせいだよー』

教師のコメント

意思疎通でもしているんですか？あと、その内容が気になります。

土屋康太の答え

『人には、知られたくない過去がある・・・』

教師のコメント

貴方ですか。

—Aクラス前—

「でかい、でかすぎる。」

「ホントに大きいね。ここ、ほんとに教室？」  
「リクライニングチェアに、ノートパソコン、個人の為のクーラー<sup>1</sup>  
や、冷蔵庫まであるよ！」

「すごいね。・・・って遅刻しちゃうよ兄さん！」

「えつ！急がないと！」

兄妹、目的地に移動中・・・

—Fクラス前—

「・・・・・。」「

一人は唖然としていた。

「ここって教室？」

「もはや廃屋だよ・・・。」「

・・・・・・・・・。

「とりあえず行こう。遅刻しちゃっているし。」「

「そうだね。」

ガラツ

「スイマセン。少し遅れました」

「早く座れ、このウジ虫だ」「神えの祈りはすんだか・・・。」「  
吉井兄妹い！？すまん別の奴かと」

「問答無用！！！」

「ぎやああああああああ！！？！」

グロテスクなシーンでしたのでカットをせもらいました。（笑）  
「あ～、雄一のせいで、返り血いっぱい浴びちゃってるよ。ビック  
てくれるんだよ、雄一。」

「明らかに、おぬしらが原因じやと思つのじやが・・・。」「

「あ、秀吉（君）おはよう。」「

「かじのなまひがね。」  
続べ。

2話／それが今の日常へ（後書き）

評価ポイント数が、40を超えた・・・だと?  
そんな、粉バナナ！

3話～自己紹介DA ZE～（前書き）

「メントくれええええええええええええええええ！」

### 3話「自己紹介DA ZE」

問題

『大人気ステルスゲーム、MGS。このMGSの3で出てくるA.R.I.15（XM16E1）の銃身を短く切り詰め、ストックを取り除いた大型マシンピストルの名前を答えなさい。』

吉井兄妹の答え

『『パトリオット』』

教師のコメント

正解です。またこの銃は、マガジン弾倉が、の形になつており無限に弾が打っている為、チート武器として扱われました。

姫路瑞希の答え

『ヒヤアアアハアアアア！－汚物は、消毒だあああ－－』

教師のコメント

姫路さんが暴走しました。至急、生徒は避難してください。

西村修一の答え

『ボスウウウウ－』

教師のコメント

西村先生も落ち着いて！

「えへ、ちょっとそこをどいていただけません？」

「あつ、スマセン」

みると、白髪頭で細身の人が立っていた  
どうやら、このクラスの先生らしい。

「えへ、このクラスの担任となつた、「  
といい、黒板に名前を書こうとしたが、  
「・・・。福原慎といいます。」

書けなかつた。このクラスには、チョークすら支給されていないら  
しい。」

キングクリムゾン、自己紹介までの過程を飛ばす。（作者の力不足  
のせい）

「では、自己紹介でも始めましょうか。そうですね。廊下側の人か  
らお願ひします」

ガタツ

「木下秀吉じゃ。演劇部に所属してある」

そう言つて立つたのは、女顔に男子の制服といづミスマッチな格好  
をした、演劇部のホープ

木下秀吉だつた。

「秀吉ー愛し七、グボラアッ！」

「なんか言つたかのあ？」

秀吉に告白しようとした人が、秀吉のスマックブローをくらつて  
いた。「愁傷様です。

「・・・・・ちなみにワシは、男じや。みな、わかつたかのう。」

「・・・・・は、はいいいいいい！？」「・・・・・

おお、みんなびっくりしてこるよ。

「次の人。」

「はい。」

次は、蘭だ。さてと準備、準備。  
「吉井蘭です。よろしくお願ひします。」

「ツ」「リ

「「「「「付合つてくだゞ、ぐぎやああああああああ！」」」」」  
僕は、ハンドガンタイプの電動ガンを2丁取り出し、蘭に近づく人たちに向けて放つた。

「ふう、疲れる。」

「お疲れ様なのじや。ほい。」

と、秀吉がアクヒ○アスを渡してきた

「ああ、ありがとう。」

ゴキユツゴキユツ

「次の人」

「ふはー、僕の番だね。」

僕は、ボロそうな教卓に立つて

「吉井明久です。後、僕に付け入つても、妹が彼氏を決めるので意味がないですよ。」

「「「「「な、なんだつてえええええ！」」」」」

みんなの大合唱を僕は聞いた。

続く

3話「自己紹介DA ZE」(後書き)

## 4話「ダブルスカーレット」（前書き）

コメントくださった方、 テンクス (^ - ^d)

## 4話「ダブルスカーレット」

### 問題

『貴方の通り名、二つ名を教えてください。（無い人は、無回答でいいです。）

吉井兄妹の答え

『ダブルスカーレットデビル（兄妹）蒼の悪魔（兄）悪魔の妹（妹）

教師の「メント

悪魔が通り名ですか・・・。

姫路瑞希の答え

『文月のキラーマシン』

教師の「メント

今度は、殺人機械ですか。

坂本雄一の答え

『不幸な悪鬼羅刹』

教師の「メント

悪鬼羅刹はともかく、不幸とは一体？

「ちくしょう、蘭さんとのいちゃいちゃを考えていたのに、粉バナ

ナアアアー！」

「どうしてくれんだ義兄さん、僕に妹をくれるんじゃなかつたの

ですか！？」

「いやいや、知らないから。後、義兄さんって何！？妹をあげるなんて僕言つてないよ！？」

畜生、このクラスにまともなやつは居ないのか？

ガラツ

「あ、遅れちゃつてスイマセン・・・。」

「…………えつ？」  
扉が開いたと思ったらハーリーは、ピンクの髪でかわいらしい、天使が立つていた。

「ちょうど良い所に来ました。自己紹介中なのでお願ひします。」

「はい」

「姫路瑞希です。よろしくお願ひします。」

「質問いいですか？」

「はい、なんでしょう？」

「なんで、ここにいるんですか？」

聞き方によつては悪く感じるが、それはみんなの疑問でもあるだろう。

「実は、試験中に熱を出して、それで途中早退しちゃつて・・・。」

「そう言えば俺も熱の問題が出たせいでFクラスに」

「ああ。科学だろ？アレは難しかったな」

「俺は弟が事故に遭つたと聞いて実力を出し切れなくて」

「黙れ一人っ子」

「前の晩、彼女が寝かせてくれなくて」

「今年一番の大嘘をありがとつ」

ホントにバカばっかりだ。

「坂本君、キミが自己紹介最後の一人ですよ」

「了解」

先生に呼ばれて雄一が席を立つ。

ない。

「坂本君はFケラスの代表でしたよね?」

福原教諭に言われ、頷く雄二。最もクラス代表といつても最低クラスの成績者の中での一番に過ぎないし、僕ら兄妹や姫路さんに比べればその成績は遙かに劣るはずだけど。

「不思議な悪魔羅刹」

その通り。名は「IN&OUT」。

雄一が好きなように呼んでくれって言ったからじゃないか。

折れかけのちやぶ台

# スキマ風が入る窓ガラス

## 綿の入っていない座布団

# カビ臭い教室

「・・・不満はないか？」

「どうう？俺だつてこの現状は大いに不満だ。代表として問題意識を抱いている」

『いくら学費が安いからと言つて、この設備はあんまりだー・改善を要求する!』

『そもそもAクラスだつて同じ学費だろ?あまりに差が大きすぎる!』

『』

次々と上がる不満の声。

そんな皆の反応に満足したのか、雄一は不敵な笑みを浮かべる。

流石、人を乗せるだけは上手い。

「皆の意見はもつともだ。そこで!」

「これは代表としての提案だが、FクラスはAクラスに『試験召喚戦争』を仕掛けようと思つ!」

続く

## 4話「ダブルスカーレット」（後書き）

140ポイント超えたよ  
ゆっくりしていいでね！

## 5話「林檎と蜂蜜、赤色と金色混ぜたなら～（前書き）

友達に、小説を書いていることがばれた。  
何処から情報が漏れたんだろう？

5話～林檎と蜂蜜、赤色と金色混ぜたなら～

問題

貴方の得意科目を答えなさい

吉井明久の答え

中歴史・日本史・英語・理科・数学・

教師のコメント

1教科があれだけの点数ですか?などは言えません

## 吉井妹の答え

國語以外全部。

教師のコメント

国語が苦手ですか。  
ちゃんと勉強すれば分かりますよ。

『勝てるわけがない』

『これ以上設備を落とされるなんて嫌だ』

悲鳴が聞こえたまづを見ると、姫路さんのM4A1（東○マル○製）と、秀吉のリバーブロー、蘭の正拳突きを喰らっていた。『愁傷様 D E S U

話を戻そつ。

次々とそんな声が上がる。しうがないだろつ、そのぐらいAクラスとFクラスの戦力差は明らかなのだ

「そんなことはない。必ず勝てる。いや、俺が勝たせてみせる」

そんなことを分かりきつている雄一は堂々と宣言した

『何を馬鹿な事を』

『できないわけないだろつ』

『何の根拠があつてそんなことを』

次々と否定的な意見が教室中に上がる。確かにどう考へても勝てる勝負ではないだろつ、しかしだからといって諦める気はさらさらない

「根拠ならあるさ。このクラスには試験召喚戦争で勝つ」とのできる要素が揃っている」

そう強く言ひ切つた雄一の言葉に教室がさうじめく

「それを今から証明してやる」

雄一は得意な不敵な笑みを浮かべて教壇からFクラスを見渡す

「おい、康太。畠に顔つけて姫路と蘭のスカートを覗いてないで前に来い」

「・・・・・」(アンアンシ)

ヒュン（僕がナイフを投げた音）

バンツ（康太が、畳をたたいた音）

サケツ（置のにガイアが刺さった音）

「康太君？」君は人の妹のスカートを何覗いちやつているのかな？」

（僕の背中から羽が出て黒いオーラが圧巻）

「……羽？」

「これは、今から君を抹殺するための羽だよ。」

ササツ（康太が土下座した音）

「…………もういいよ、だけど次したら。」

ダンツ、ダンツ（バックから、ハンドガン（電動ガン）を取り出し、康太の横に撃つた音）

「わかった？」

「…………（ブンブンツ）」（縦に振っている）

「話を戻すぞ。」

「土屋康太。コイツがある有名な、『寡黙なる性識者』 ムツツリ  
ーーだ」

「…………（ブンブンツ）」

『…………なんだと…………』『…………』

土屋康太といつ名自体はそこまで有名ではない。だが、ムツツリー  
ーといつ名は別だね。まあ、ただたんに変態を示す名なんだけど。  
雄二の発言にFクラスはざわつく、そこまで驚くことかなあ？

「…………」

姫路さんと蘭は意味が分からぬのか頭の上に疑問符を大量に浮かべている。ただのムツツリスケベということを教えた方がいいだろうか？

「姫路のことは説明する必要もないだろ。皆だってその力はよく知つてゐるはずだ」

「えつ？ わ、私ですか？」

確かにAクラスでもトップに入るぐらいの点数だから、姫路さんの存在は欠かせない。

「それに、吉井兄妹だつている」

続く

## 5話「林檎と蜂蜜、赤色と金色混ぜたなら～（後書き）

明久のスペルカードを応募しています。  
コメントに書いてください。

## その他のキャラ紹介（追加）（前書き）

今回は、吉井兄妹以外のキャラ紹介をします。

## その他のキャラ紹介（追加）

—姫路瑞希—

文月学園の彼女にしたい人ランキングで、いつも上位を獲得しているグラマー・ボディの女の子

しかし彼女には、『文月のキラーマシン』といつづけの通り名がある。

この意味は、

1、常にバックには電動ガンが入っていて、手を出してきた輩には容赦なく浴びせることからきている。

2、格闘技にも精通しており、本気のキックは、コンクリートの壁も壊すから。

などなど、黒い噂が絶えないとでも有名である。

でもやつぱり、ランキングは上位。

(明久にまだ未練がある) これ

—木下秀吉—

もつとも女の子に近い男子1位を毎回取っているが本人は知らない。

また、過去に姉がさらわれた事件があり、そのショックで人格が変わってしまった。（一方通行みたいな性格）

普段はおとなしいが、一度切れると鉄人でさえ止めれないほどに暴走する。

姫路とは、恋人関係。（言つちやた。）＝ 姫路×秀吉

姫路に手を出す輩や、告白する輩には、この世の地獄を見せる

唯一、吉井明久と吉井蘭の正体を知る人物

## その他のキャラ紹介（追加）（後書き）

そのほかのキャラは、原作道理なので書きませんでした。

## 6話「スキマバ b ( りょ、ピチューん ) ( 前書き )

ゆかりん登場。

ゆかゆか～ゆかり～んゆかりゆかゆか、  
ゆかゆか～ゆかり～んゆかりゆかりんりん。

ゆかりんファンタスジア・カオスFJL～よつ。

6話→スキマバ b (ry、ピチューン→)

吉井兄妹？

雄、個人的に○ H A N A S I があるんだ。

へえ、・・・」（田が笑っていな）

ホントだ!! みんなよく置け!!!

「レーベル兄妹は別名『ダツ川・スカリレット・元ヒル』だぞ！」

卷之十一

『嘘だろ！？あの伝説の！？』

『1年の時のAクラス代表と次席を取った兄妹だよな！？』

『文月の有名な暴走族「魔真眼」 獲無百参十六（マシンガン M - 136）』の軍団を、二人で1分以内に壊滅させたって言う噂の！

2

『鉄人を1発殴つただけで、病院送りにしたって言う！？』

3

うん、全部ホントの事だからひとつこめない。

1 明久＝代表 蘭＝次席

2 5万人ぐらいの規模。一人で1秒間に833人は倒している事になる

3 明久が暴走して、鉄人を殴った。

と、まあこんな感じ。そして・・・。

『お、オレ、ファンなんです！サインしてくださいー。』

『先程は、妹をくださいなんて言つてすみませんでした！』

『アンタのおかげで、夜道が安全になったよーありがとうー。』

絶賛、大人気中である。

「それに、木下秀吉もいる。」

『おお、あの木下優子の・・・。』

『これならいけるんじゃないか！』

などなど、いろんなところから声が上がる

「これだけの戦力がいるんだ。負けるはずがない。よし、今からDクラスから落とすぞ。」

「明久には、宣戦布告に行つてもらひ。あいつがいるしな。」

一わかつたよ

明久達は気づかない。

「ふふ、見つけたわ。」  
結界を壊した本人と、その子に吸血鬼にされた人間。「

◦ Fクラスの隅の小さな亀裂から、何かが覗いていることも知らず・

6話～スキマバ b（ゝゞ、ピチューん～）（後書き）

ゆかりんキター

明・湯望「アンブライヤー」

二十一

「氣合いで残りきつたぜ。」

蘭・禁忌「恋の迷路」

ピチューン・・。

7話  
～UN・オーハンは彼女なのか～（前書き）

キャラ崩壊アリ。

「話すのは・オーハンは彼女なのか?~

「Dクラス前」  
ガラッ

「ちょっとよろしくでしょ?」

さわざわ

『おー、アイツってFクラスの奴だよな。』

『ああ、なんでFクラスの奴がここに?』

『どうせFクラスだ、放つておいてもかまわんだろう。』

「言われ放題だね……。ってすいませーん、Dクラスの代表は居ますか?」

「僕だけど。」

「あ、えっと、Fクラスの使者として来ました。」

「Dクラス代表の平賀源一だ。よろしく。」

「はい、宜しく……。って僕、用件があつたんだ。」

「用件?」

「はい実り「お兄様ああああ!」やつぱりこのクラスだったんで

すね。清水美春先輩。

「先輩つて堅苦しい言わないでください、お兄様あああーー。」

ドゴッ！ 明久が美春のデビルバットダイブをまともに喰らつた音

「グボラアツ！-!-?！」

ヒュン

バリーンッ！ 明久が吹っ飛び、窓が割れ、落ちた音

「あ、かしあなたがここにいた。

『『『『やつちやアカンだろおおおおおお！』』』』あああーー。』』』』

「あ、死ぬかと思つた。」

いや普通、死ぬからあるある………何で生きているの

「さすがお兄様です。美春の『ビルバットダイブ』を受けてもまだ平気でいられるんですから。」

「いや、さすがに今度は死ぬかと思つたよ。」

「「あらせせせせ。」」

『…………（あいつら、化け物か？）』

「あ、そりゃええ、代表に話があるんだった。」

「美春が代わりに伝えますよ。」

「うん、じゃあ……。」

少年、少女に説明中……。

「じゃあまた今度、バイトで。」

・・・・・

「美春はいつでも待っていますよ。」

少年、祈願中……。

7話  
「UN・オーハンは彼女なのか～～（後書き）

美春のキャラ崩壊です。

## 8話「塩と水ではない」（前書き）

明久のスペカの募集をしています。  
コメントに書いてください。

## 8 話 塩と水ではない

「ただいま」

「おう明久、やつと帰つて・・・。どうしたその制服?」

「美春先輩の『デビルバットダイブを喰らつて、窓から落ちた』

「さすが兄さん、それを喰らつてもまだ生きているんだから」

『『『』いやいや、普通生きていないから...』』』』

「それが明久クオリティーだからな」

「雄二君へ。ちょっと歯をK U I S H B A R O U K A

』

「じよ、『冗談だ明久。だからその手に持つていいかにも人をたくさん切つて来たような大きな包丁を降ろすんだ!』

「わかつたよ・・・。(チツ、もう少しで美味しいアレが手に入ると思つたのに。)」

「?、なんか言つたか?」

「いや、なんにも」

キンコーンカーンコーン

「お、もつ姫が」

「蘭、ちやんとこつものやつ持つてきただ?」

「うさ。ちやんと持つて來たよ」

少年少女の移動中・・・

「明久、ロクリスの試合戦争は何時でした」

「えつと、今日の午後の1時30分にしたけど」

「分かつた。それじゃあみんな午後からの試合戦争の為に今のうつに準備しどけ」

「」「」「わかつた(のじや、ました、わ)」「」「」

「ねえ、もつ(い)飯を食べていいかな?」

「ああ、いい・・・。」

「うつしたんじや坂本。急に顔が青くな・・・。」

「うつしたんですか?そんなに青なむ・・・。」

皆が青ざめるのも無理が無い。なぜなら明久と蘭が持つているのは

B型の血液パック×5だからだ。

「 「 「 「え、えええええええ！」！」！」

続く

8話「塩と水ではない」（後書き）

次回から、バカテストを復活させます。

## 9話～僕らの正体～（前書き）

明久のスペカを募集しています。  
コメントに書いてね。

それじゃあ

ゆっくりしていってね！！

## 9話「僕らの正体」

問題  
オリ

「東方アートの中でも創造神として崇められている英語3文字の神の名前を答えなさい。」

吉井兄妹の答え

「NUN」

教師のコメント

正解です。ちなみに「ゾン」と読みます。

姫路瑞希の答え

「MND」

教師のコメント

それは、ポップンの世界の神様です。

「明久、それは血液なのか?」 雄一

「ちがいますよね?」 姫路

「えっと・・・言こいくけど、血液だよ」

・・・・・・・・・・・・

「明久、血が足りないなら献血に行けばいい。」

「アキ、そんなに血が足りなかつたんだね。」

「ちよつとまつてみんな、まるで僕たちが血が足りないみたいに見えるよー。」

「…………」

「ちやんとした理由があるんだからーーー。」

「兄さんの言つ通り。ちやんとした理由があるんだよー。」

「で、理由は何だ？」

「ばらしちゃつていこのかな？」

「……んじやない? どせ何時かは、ばれるんだから

「じゃあみんなこれを見て驚かないでね。」

「なにをこいつちうわあああーーー。」

明久と蘭の体が眩く輝く

少しして輝きが無くなると、そこに立っていたのは、

「久しぶりにこの姿だね」

「ホントにそうだね」

木の枝のような羽が生え、服装が変わっている、明久と蘭であった。

「　　（ポカーン・・・）」「　　

「あれ？ みんなどうしたの？」

「兄さん、きつと頭が追いついていないのよ

「おまえら、その姿は…？」

「アキが急にかつによくなつた…・・・

「明久君、素敵です！」

「ありがとう美波、姫路さん」

「　　ボンッ！　　ブシユウウウー！」

「ちょ、大丈夫！？ 顔が赤いよ！？」

少女、オーバーヒート中…・・・

「落ち着いた？」

「ありがとアキ」

「ありがとうござります、明久君」

「いやこやれほども」

「といひで墨久その姿は・・・」

「ああ、いの姿？実は僕たち・・・」

一瞬、躊躇つ様に言葉を止めたがスグに言つた。

「吸血鬼なんだ」

「・・・・・・・・・・・・、はい？」

「だから吸血鬼なんだって」「ええええええ・・・」「つるさー！」

・・・・・・・・・・・・・・

「今日は驚く」とぱっかりだ

「・・・・・、まつたぐ

「びつべつしあわせました」

「ほんとねせがわせね

「あはははは、『メン』『メン』。そんなに驚いた?」

「「「驚くわー普通ーー」「」「」「」

「今度から『氣』を付けるよ」

「まつたぐ。ワシに会つた時と回りを

「秀吉君は知つていたんですか?」

「まつたぐ。明久達に助けてもらつた事があるのじや

「あの時の秀吉つて今よりも女の子っぽかつたよね

「これ明久ー言つても良こー」とあるがなぜかうーー

「！」ぬんね秀吉

「まつたぐ、お主はいつもこつもこつも」

少年、説教中・・・

「わかったかのよ」

「分かったから、その拷問道具早くなおして……」

続く？

9話～僕らの正体～（後書き）

「メントあいつがどう

10話～迷への恋の迷面～（前編）

Dクラス戦スタート前

## 10話～迷える恋の迷宮～

### 問題

『濃塩酸と濃硝酸を3・1の割合で混ぜた混合液を何といつか』

吉井明久の答え

「王水・CAS登録番号8007-56-5・逆に1・3の割合で  
混ぜると『逆王水』ができる」

教師のコメント

もはや言ひ言葉もありません。ちなみに『逆王水』は、金属の溶解  
などに使われます。

Fクラスの生徒たち

『それを明久達の眼や鼻へギヤアアアアア！！』

教師のコメント

何故でしょか、テストの用紙に赤い何かが付いていいて読めませ  
ん。

姫路瑞希の答え

「秀吉君のお弁当に使つ『ミニグラスソース』

教師のコメント

・・・えつ？

「それじゃ雑談もそこそこに、そろそろ本題に入るよ雄一」

「ああ、そうだな」

「気になつておつたのじゃが、なぜロクラスなのじゃ？」

僕が気になることを真つ先に言われた・・・

「簡単だ。姫路や吉井兄妹に問題がない今、Eなら正攻法でも勝てるが、Dクラスは難しい。それに初陣だから派手にやつて景気づけたいし、Aクラス攻略の為に必要な要素がDクラスにはある

まあ時間かけて準備をすればCクラスだって勝てるけれど

DクラスにあつてCクラスに無い要素があるんだろうなあ

「つまりAクラス攻略のための第一段階つて事だね」

僕が簡単に言う

「あ、あの！」

瑞希が大きな声で雄一と僕と秀吉に質問した

「ん? どうした姫路」

「えつと、その。吉井君と坂本君と秀吉君は、前から試合戦争について話し合つてたんですか？」

「ああ、それが。それはつこさつき、姫路と島田の為にって明久と

秀吉に相談されて・・・」

「「それはそうとー。」」

僕と秀吉が雄一の台詞を遮るように、大声を出す

「さつきの話、Dクラスに勝てなかつたら意味がないよ

「やうなのじや」

「負けるわけないさ」

明久の心配を笑い飛ばす雄一

「お前らが俺に協力してくれるなら勝てる」

そう言って・・・

「いいか、お前ら。ウチのクラスは・・・最強だ」

そういうて拳を空に向けて上げた

10話～迷える恋の迷宮～（後書き）

明「作畫わざ」

作「は、ハイイイイイイ！？」

明 - どうして更新が遅くなつたのかな?』

作  
文  
と  
・  
・  
・  
・  
それには  
・  
・  
・  
その  
・  
・  
・

明一 言ふ訝しなし！」

新しい作品が思いついて

田子林

明治の政治小説

卷之三

明一発音おかしいけど・・今度から氣を付けてね」

作 -

11話～紅くて甘い罪～（前書き）

久しぶりの投稿DA ZE  
コメント夜露死苦！！

## 1-1 話「紅くて甘い暁へ

問 以下の意味を持つことわざを答えなさい。

- 『（1）得意なことでも失敗してしまうこと』
- 『（2）悪いことがあつた上に更に悪いことが起きる喻え』

姫路瑞希の答え

- 『（1）弘法も筆の誤り』
- 『（2）泣きつ面に蜂』

教師のコメント

正解です。他にも（1）なら『河童の川流れ』や『猿も木から落ちる』、（2）なら『踏んだり蹴ったり』や『弱り田に祟り田』などがありますね。

土屋康太の答え

- 『（1）弘法の川流れ』

教師のコメント

シユールな光景ですね。

吉井明久の答え

- 『（1）ジー○アスも魔法の失敗』
- 『（2）泣きつ面に蜂』

教師のコメント

（2）は合っていますが、（1）はチョット……でも、先生もテイルズは好きです。

### 吉井蘭の答え

- 『（1）慧音も歴史の誤り』
- 『（2）弾幕に負けた後の靈夢』

### 教師のコメント

どういふことですか？

「吉井！木下たちがDクラスの連中と渡り廊下で交戦状態に入ったわよ！」

「分かった！！」

只今、Dクラス戦中・・・

『横溝がやられたあああーーーー！』

『さあ来い！この負け犬が！』

『て、鉄人！？嫌だ！補習室は嫌なんだつ！』

『黙れ！捕虜は全員この戦闘が終わるまで補習室で特別講義だ！終戦まで何時間かかるかわからんが、たっぷりと指導してやるからな

『た、頼む！見逃してくれ！あんな拷問耐え切れる気がしない！』

『拷問？そんなことはしない。只の洗濯……これは立派な教育だ。補習が終わる頃には趣味が勉強、尊敬するのは一宮金治郎、といった理想的な生徒に仕上げてやるつ』

おい、今洗脳つて聞こえたぞ！

『お、鬼だ！誰か、助けつ——イヤアア——（バタン、ガチャ）』

みんなの戦意がガクッと下がつた

「怯むんぢやない！皆進めえええーーー！」

サード・エディション

一 お兄様ああ！！！！！！

美春セントラルアーティスティック!!?!?!!

ケシャツ（美春が明日にタツケ川した晉）

「本日一度目えええ！！！」

バリーンツ

『そんな・・・明久隊長が・・・』

『貴様ら、許さんぞおおお――――――――――――――』

『明久隊長の仇を取るんだ――!』

『――――――――――オオオオオオオ――――――――――――――――――――――――』

死んでねえよ

キングクリムゾン（後の過程を飛ばす）

『Fクラスの姫路瑞希がDクラス代表の平賀源一を倒したぞ!』

『――――ウオオオオオオオオオオオオ――!――!』

続きます

外伝『意外な彼らの日常』文月・TOSのリフィルと姫路さんのおこしい家庭

p.vが5万こえたので

コラボ作品始めます。

バカテス × TOS ティルズオブシンフォニア

外伝～意外な彼らの日常～文月・TOSのリフィルと姫路さんのおいしい家庭

? 「はい、はじまりました～。姫路さんとリフィルさんのおいしい家庭料理教室！（笑）」

ワハハハハ。

? 「今回の料理のイケー···実食するのは、」の方たちです!」

? 「せつかく、『おいしい料理が食べられるぞ』って言わされたから  
来たのにいいーーー！」

? 「ロイドさんと明久さんです。」

? 「ちなみに今回の料理教室の進行兼、司会を務めるは私はジーニアスです。」

ジ「だまされる方が悪い（笑）」

口「チクショウーまさかあんな餌に引っかかってしまうとは……。」

（回想シーン）

ジ「なあ、ロイド」

口「なんだ、ジー二アス？」

ジ「今回、作者の計らいで『ラボする』とになつたんだ」

ロ「マジで…？ 何処と…？」

ジ「落ち着けロイド。作者の一一番ローヴの多い小説と聞けば？」

口「僕と悪魔の妹と召喚獣……あつ…」

ジ「分かつたか？」

口「つまり、俺たちがバカテスの世界に行けるってことだな！」

ジ「そういうことだ。ただし、条件がある」

口「条件?」

ジ「絶対に、文句を言わない事だ」

口「それぐらい、朝飯前さー！」

ジ「それじゃあ、行こうつか！」

口「やめつづけ！」

（回想終了）

口「今思えば、リフィルを連れている時点で気付くべきだった！」

明「蘭！助けて！いくら兄が吸血鬼でも死んでしまつよーー。」

ジ「残念ながら蘭ちゃん、もといフランちゃんには、『今日1日だけ、バルバトスさんと遊んでいいよ』と言つておきましたので」

明・口「鬼だ、鬼がいる……」

ジ「失礼な、僕はエルフですよ」

口「知つてゐわあ……そんない」と……」

明「ああ、バルバトスさんと蘭が暴れたらきつと大変なこと……」

ジ「ちなみに遊んでいる場所は、貴方の家ですよ？」

ブチッ！ キレた音（明久）

明「能力で逃げてやんよおおお……」

プスン……

(。 。 ) ハア ?

明「何故だ！何故発動しない！？」

ジ「ああ、今回逃げる可能性があつたので、洗礼された銀の椅子を用意しました（笑）」

明「チクショオオオオオー！ー！ー！ー！」

続く

外伝／意外な彼らの日常IN文月・TOMのリフィルと姫路さんのおこしい家庭

外伝は、少し続けます。

外伝／意外な彼らの日常IN文月・TOSのリフィルと姫路さんのおこしい家庭

久々の投稿です。

## 外伝／意外な彼らの日常＝文月・トオのリファイルと姫路さんのねこじい家

ジ「それでは！本日、主役の一人をお呼びしましょー。」

口「ヤメロオオ……呼ぶんじゃねえええ……！」

明「りあああん……マジで助けに来てえええ……。」

「らんしゃまーではあつません

ジ「姫路さんとコフィルさんですー。」

姫・リ「んにちわ～（眩い笑顔）」「

Fクラス男子（全）「…………眼福じゃ…………」

「…………」

ム「・・・ブッショアアアアアー！」

霧「雄ー・・・」

坂「待て翔子！俺はただ明久の困る顔が見たくて來たd<sup>ミシッ</sup>ギャアアアアアッ！」

いろんな意味で地獄絵図（笑）

明・口「（まづ）一早く何とかしない」と一（）」

口「そ、 そういえば今日俺腹が痛くて食えないんだ」「

明「僕も、今日ちょっと用事があつて」

姫「？ でもジーニアスさんが『あいつらは今日、特に用事などないから大丈夫だ』って言ってましたけど？」

## リ「わたしも」

明・口「「ジイイイ一イイアアアアスウウウ！－！」」

## 「計画通り」の「計画通り」

あれ？一瞬だけジー＝アスが、夜神に見えた気がする・・・

明「・・・血」

口「？」

明「血をくれえええーー！」

口「おわあああーー？」

明久が暴走しました（笑）

? 「「うるせーござおお……貴様らああ……」

『ジエノサイドブレイバー』

ズガガガガガガガガガツ

Fクラス男子（全） 「「「「「「「「えー・ちよ、ま（バシュウ）」ぎ  
やああ！……！」」「」「」「」「」「」「」

? 「ふん！ 雑魚共が！」

明「おまえは……」

明・口「バルバトス！……」

続く

外伝「意外な彼らの日常」文月・トオのリフィルと姫路さんのおこしい家庭

バルバトス登場  
コメント宜しく

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7771v/>

僕と悪魔の妹と召喚獣

2011年10月13日20時49分発行